

電力中央研究所七原俊也氏、再生可能エネルギーについて講義(2007年と2008年)

(1) 夏季大学はフェロー間で切磋琢磨し学ぶ場

講師は、教えるよりも問題提起をすることが求められる。講師はフェローから多数の質問を受け、それがフェロー間でのディスカッションにつながっていく。ディスカッションを通じての切磋琢磨の環境は入念に作られている。



(2) 多様な人材が集う場

フェローは洋の東西、南北を問わず多数の国から集まる。先輩格のファシリテータや講師陣も多様かつ多士済々である。このため、たとえば、偶然聞いた 2008 年のパトリック・ムーア氏の特別講演などの公式行事はもちろん、普段の食事時などのメンバーとの何気ない会話も興味深いものが多い。

(3) 「よく学びよく遊ぶ」場

たとえば、2007 年の夏季研修(韓国)では、後半の週末前に参加したせいか、食事会、野球観戦など様々な課外活動も盛んでした。お互いの文化的背景を含めて理解し、多彩な友人を作るには、有効な場である。